

# 特別展 関連事業のご案内



いずれも事前予約制・先着順に受付いたします

会場：物流博物館 2階映像展示室 参加費：無料（入館料別途要、Zoom は不要）

## 申込方法

①講演会を会場で聴講ご希望の方 ②映画会 ③スライドトーク → 電話でご予約ください。TEL 03-3280-1616

①講演会の Zoom 配信をご希望の方 = メールにて **1週間前まで**にお申し込みください。

→ e-mail : tokuten22@l(エル)muse.or.jp

※お申込み時に【参加ご希望イベント名/日時/お名前/ご住所/電話番号/どこでこのイベントをお知りになったか】をお知らせください。

## ①講演会 定員：会場各回10名 Zoom 配信あり

### 第2回「物流における荷役の役割と将来－変わる生活様式、変わらない物流の本質－」

日時 4月24日（日）13:30～15:30

講師 苦瀬 博仁 先生（東京海洋大学名誉教授・流通経済大学元教授）

### 第3回「小運送合理化に果たした平原直の役割」

日時 5月5日（木・祝）13:30～15:30

講師 河村 徳士 先生（城西大学准教授）

## ②映画上映会 定員：各回10名



※すべてデジタルリマスター版による上映です。

※上映作品・上映日時は裏面をご覧ください。

### 「荷役近代化への道～現場人はいかに闘ったか～」

1966年編集/29分/白黒/

製作：マツオカ・プロダクション/企画：荷役研究所

製作・脚本・演出：平原直

戦後間もない時代の荷役現場の人々の姿を記録した貴重な映画。人力による荷役作業から、初期の機械化実験にいたる様子が描かれている。

荷役近代化の父とよばれる平原直氏が、主に昭和20年代に全国を回り撮影したもの。



「荷役はかわる—通運のパレット作業—」(1958年)



「欧米の貨物輸送作業」(1957年)



「トレーラーとのせかえ車」(1958年)



「荷役はかわる 第2集」(1960年)



「荷役はかわる 第三集 ユニット・ロード・システム」(1964年)



「荷役は変わる 第四集 システム化への道—」(1971年)

## 全てのプログラムで「荷役近代化への道～現場人はいかに闘ったか～」を上映します

### プログラムA 4月10日(日) 10:30～

「荷役はかわる—通運のパレット作業—」(1958年/カラー/50分/製作:岩波映画製作所/企画:日本通運株)

貨物輸送の現場におけるフォークリフト、パレット、ローラーコンベアなどを用いた荷役の合理化について紹介した作品。条件の整わない中様々な工夫によりこれらの導入をすすめた事例など、その画期的な成果を紹介している。

### プログラムB 4月10日(日) 14:00～

「欧米の貨物輸送作業」(1957年/白黒/20分/企画:日本通運株/製作:日本通運株)

当時の先進的な欧米の輸送現場を視察した際の記録映像を編集した作品。鉄道貨物駅を中心としているが、アメリカのトラックターミナルも登場する。ここで紹介された多くの先進事例が、日本の輸送現場に取り入れられている。

「トレーラーとのせかえ車」(1958年/カラー/25分/製作:運輸新聞映画部/企画:日本通運株)

エンジン部分と荷台を切り離すことで、作業の合理化を実現したトレーラーとのせかえ車の運用方法を紹介。

### プログラムC 5月3日(火・祝) 10:30～

「荷役はかわる 第2集」(1960年/カラー/41分/製作:運輸新聞社映画部/企画:日本通運株)

パレット・フォークリフト・トレーラーの利用のほか、各種コンテナ輸送、最新のトラックターミナルなど、1950年代後半から進化した物流近代化の諸相を紹介した作品。

### プログラムD 3月27日(日) 10:30～・14:00～

5月3日(火・祝) 14:00～

「荷役はかわる 第三集 ユニット・ロード・システム」(1964年/カラー/27分/製作:東京シネマ/企画:日本通運株)

物流現場を劇的に変えた、貨物を一括して機械荷役し輸送・保管を行うユニットロードシステムと一貫パレチゼーションを、さまざまな事例と共に解説。

「荷役は変わる—第四集 システム化への道—」(1971年/21分/カラー/製作:鹿島映画/企画:日本通運株)

流通革新における荷役・輸送・保管・包装・情報などの部門別の改革から、個々の輸送技術の機能的な組み合わせ=システム化による効率化が求められる中、パレチゼーション、コンテナリゼーション、トレーラー方式などシステム輸送の基本となる作業方式について、さまざまな実例を挙げながら解説した作品。

## ③担当学芸員による展示解説スライドトーク 定員:各回10名

日時 4月10日(日)・5月3日(火・祝) いずれも15:30～16:30